

第1学年1組 道徳科学習指導案

日 時 令和7年1月27日(月)

場 所 1年1組教室

指導者 * * * *

- 1 主題名 誠実で責任ある言動 < 自主、自律、自由と責任 A-(1) >
- 2 教材名 「ネット将棋」(出典：日本文教出版「中学道徳『あすを生きる2』」)
- 3 ねらい

誠実に行動することの大切さを理解し、自主的に行動して、その結果に責任をもとうとする態度を育む。

- 4 道徳的価値について

この教材では、公正さや誠実さ、相手を尊重する姿勢の重要性を学ぶことができる。匿名性の中でも責任ある行動をとることの大切さや、勝敗を通じて謙虚さや向上心を育む意義が示されている。また、相手との攻防からの学びや、競い合った後の自分の行動がどのような成長に影響を与えるかを考えることができる。精神的、技術的な成長には、競技を通じた努力や、相手に対するリスペクトやフェアプレーなどの誠実さが必要であることを、深く考えさせることをねらいとしている。

- 5 生徒について

学級活動や学校行事、部活動など、自分たちで考えて、決定し、よりよい行動ができる機会が増えてきた。しかし、うまくいかないことがあると、途中で諦めたり、他者に責任を転嫁したりするなど、自分の行動に責任をもつことについて、十分に理解していない生徒も一部みられる。また、一時の感情に任せて行動し、自分の行動が自分や他者にどのような影響をもたらすかを考えず、無責任な行動をしてしまう生徒もいる。本学級の生徒がこの教材を通して、物事がうまくいかない時に、さらに成長するためには悔しい思いをどのように受け止め、次に活かしていくかということを、自身の経験と重ねながら深く考える態度を養いたい。

- 6 教材について

負けを素直に認め、次に活かす「誠実」な行動をすることは容易なことではない。自己の選択や行動がもたらす影響や、勝負の結果を自分の成長につなげるためにはどう考え、どう行動すればよいかを自分ごととして考えさせることで、道徳的実践意欲と態度の育成につなげたい。

- 7 指導について

この教材では、「誠実・責任ある行動」を考えるだけでなく、敏和のように責任ある行動ができないのはなぜか生徒自身が状況や立場を変えて気持ちを想像し、自分の価値観に基づいて判断を深めていくことを重視したい。そのため、「自分ならどうするか」「なぜその選択をするのか」といった問いを生徒自身で作成し、生徒が多様な視点で考える場を与え議論させたい。状況や立場を多様な視点で議論することで、誠実さについて深く考えさせ、それぞれの納得解を出させていきたい。その手立てとして、ペアや小集団での対話による意見の交流を行う。仲間の意見を聞きながら、自分の考えを整理し、自分なりに誠実とはどうすることなのか考えさせたい。

- ・小集団で思考ツールを使ってホワイトボードに意見をまとめ、自分ならどうするか話し合う。
- ・ペアで意見を交流することで、主人公や敏和について話し合う。
- ・展開は問題解決的な学習の形態をとり、生徒自身で問題を解決していけるような発問を準備する。
補助発問により多角的に「誠実」を考えさせる。

8. 指導過程 ※教師主体の授業形態の場合（生徒もこれに近い授業を行います）

	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1 あらすじを確認しながら、感想を共有する。 2 本時の目標を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">誠実とは？</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・次に生かすために負けを素直に受け止める姿が素敵。負けそうになってログアウトする気持ちは分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材は事前読みをしておく。
展開 40分	3 誠実について話し合う。 (1) 自分なら負けそうなときにどうするか。 <ul style="list-style-type: none"> ・心の数直線を使って、自分の考えを示し、理由をイメージマップに示す。 ・グループで話し合った後全体場で交流する。 ・ホワイトボードをストリームにあげる。 <補助発問> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">★勝ちたいという気持ちはどうなってしまったのだろうか</div> (2) 笑えなかったことに共感できるか。 <ul style="list-style-type: none"> ・心の数直線を使って、自分の考えを示し、理由をイメージマップに示す。 ・グループで話し合った後全体場で交流する。 <補助発問> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">★自分なら敏和の考えを受け入れられるだろうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎心の数直線の活用 《最後までやる》 ・最後までやりきりたい。 ・途中で辞めるのは失礼。 《途中でやめる》 ・負けを認めたくない。 ・負けるのにやる意味がない。 ★補助発問意見 <ul style="list-style-type: none"> ◎心の数直線の活用 《勝ちたい気持ちがある》 ・ぎりぎり勝ちたい。 《勝ちたい気持ちはない》 ・面倒くさい。 ・ネットだからどうでもいい。 <ul style="list-style-type: none"> ◎心の数直線の活用 《共感できる》 ・自分の幼さを痛感したから。 ・その通りだと思ったから。 《共感できない》 ・敏和と朋子の言葉に納得できるから。 ★補助発問意見 <ul style="list-style-type: none"> ◎心の数直線の活用 《受け入れられる》 ・受け入れて強くなりたい。 《受け入れられない》 ・負けた相手に感謝できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団になって、ファシリテーターが中心となって意見をまとめさせる。 ・心の数直線を用いて自我関与を図る。 ・ホワイトボードに意見をまとめる。 ・全体場で発表する際は、意図的指名をして、個で発表させる。 ・他のグループの意見を参照させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・心の数直線を用いて自我関与を図る。 ・全体場で発表する際は、意図的指名をして、個で発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・心の数直線を用いて自我関与を図る。 ・全体場で発表する際は、意図的指名をして、個で発表させる。

<p>展開 40分</p>	<p>4 誠実に生きるためには何が必要かについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何事にも責任をもって取り組むということ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて本時の議論の収束として一般化発問をする。
<p>終末 5分</p>	<p>5 振り返りをする。 ・本時の授業を通して、誠実について考えたことをスライドに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誠実について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意図的指名をして、数名に発表させる。 ・余韻をもって終わる。

9 本時の評価

- ・誠実について多角的な視点を持ち、自分なりの考えをもつことができたか。

1 本校の現職教育について

(1) 令和6年度 現職教育の研究テーマ

「言語活動を充実させ、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体化を目指した授業づくり」

～他者と協働して、自ら学び、考える生徒の育成を目指して～

(2) 目指す生徒像

- ・ 他者と協働して、自ら学び、進んで考え続ける生徒。

(3) 本年度の方針

ア 「個別最適な学び」のために

- ・ 単元の学習目標及び学習計画（学びの山）を示し、生徒に見通しをもって学習に臨ませる。
- ・ 生徒一人一人の能力に応じた適切な支援を行うとともに、日課を工夫して「習熟の時間」を設ける。
- ・ 単元末に確認テストを実施し、達成状況を把握させることで学習内容の定着につなげる。
- ・ 学期末に定期テスト（5科）を実施し、既習事項の定着状況をみとる。
- ・ スキルタイムを設定するとともに、すべての教科で読解力の向上を目指す。

イ 「協働的な学び」のために

- ・ 課題や発問を工夫することで、話したくなるような場を設定する。
- ・ ピア・サポートやファシリテーションの手法を取り入れた「話し方」「聞き方」指導を行う。
- ・ わからないときには「わからないから教えて」と言える雰囲気をつくる。
- ・ 授業中の、意見交流や練り上げといった場面に、言語活動を効果的に取り入れる。
- ・ 言語活動を取り入れた道徳の授業を実践する。また、特別活動を生徒一人ひとりが活躍できる場として設定し、学級集団全体の向上につなげる。

ウ ア・イを達成するために

- ・ 現職教育を積極的に進め、授業力・教師力の向上を図るとともに指導法の改善・工夫を図る。
- ・ 学ぶ姿勢や学習習慣を身につけさせ、学習ルール・マナーの向上・定着を図る。
- ・ 学習者端末及び Google Workspace for Education のアプリケーション群を効果的に使用し、生徒に「個別最適」かつ「協働的」な学びを保証するとともに、教員の働き方改革にもつなげる。

2 公開授業について

1年1組 道徳科 授業者：****

受付 南舎1F 生徒昇降口 13:00～13:30

(控え室：南舎1階 図書室)

公開授業 南舎1F 1年1組教室 13:40～14:30

研究協議 北舎4F 大多目的室 14:50～16:00

3 研究協議について

研究協議 14:50～15:15

※Google フォームにて参観者より本授業への感想・意見を集約

指導・助言 15:15～16:00

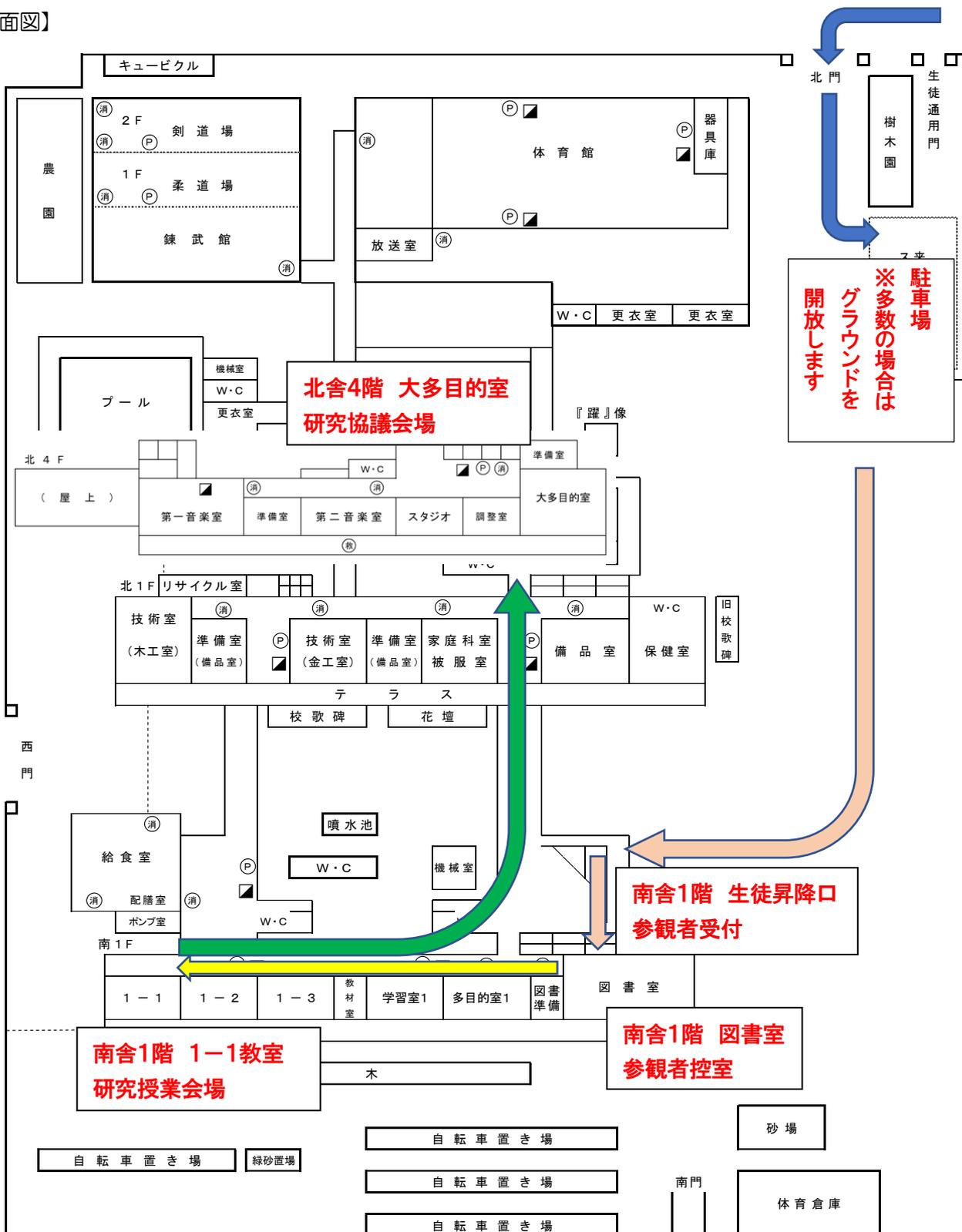
【協議の視点】

- ① 生徒自身で問いを立てる問題解決的な学習態度は、「誠実さ」という本時の主題に迫るために有効であったか。
- ② ペアや小集団での対話は、「誠実さ」という本時の主題に迫るために有効であったか。

【研究協議の方法】

- 意見集約用の Google フォームを作成しておく。
- 上記の視点に沿って、参観者は本時の授業についての感想・意見を入力する。
- 入力された内容について、司会（教務主任）が協議を進める。

【校内平面図】



一宮市立尾西第二中学校へのアクセス方法

所在地 〒494-0012 一宮市明地字油屋前 30 番地
TEL (0586) 28-8767
FAX (0586) 68-2186

交通案内

名鉄尾西線 萩原駅下車西へ2Km

名古屋鉄道路線図 https://www.meitetsu.co.jp/train/station_info/

名鉄バス西中野行 吉藤バス停下車南へ300m

名鉄バス <https://www.meitetsu-bus.co.jp/rosen/location/ichinomiya>



※お車で越しの方へ

名古屋・北陸方面より
東海北陸自動車道 一宮西 I C 下車
約15分

関西方面より
名神高速道路 岐阜羽島 I C 下車
約30分



ホームページアドレス <http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/bisai2-j>

メールアドレス bisai2-j@city.ichinomiya.aichi.jp